

カンボジア便り

カンボジアの音楽の話

日本の皆さんから送られる予定の鍵盤ハーモニカ、こちらの小学校の子どもたちはとても楽しみにしています。しかし、音楽の授業は今まで全くしていないカンボジア。昨年12月、授業を始めた時、ドレミファソラシドを覚えるところからスタートしました。授業していく中で感じた日本との違いを紹介します。

『高い音』『低い音』と言えば、何となく皆さんどんな音か想像ができますよね？救急車のサイレン、赤ちゃんの泣き声のような音は高い音。逆に低い音は、花火が上がった時のドォオンと響く音などが考えられるでしょうか。実は、最初に音楽を教えたとき一番困ったのがこれです。クメール語の先生に習ったのですが、カンボジアの人々は「強い音」「弱い音」は良く言うけれど、『高い音』『低い音』という言葉は馴染みがないんだとか。

また、「リズム」「拍」という言葉もまとめて1つの言葉となっているそう。カンボジアの伝統音楽はたくさんあるのですが、それを表す言葉がない、というのはカンボジアの中であった大きな内戦が関係しているそうです。悲しい歴史もありますが、カンボジアの人々は皆歌うのも、踊るのも、演奏するのも大好きです。YouTubeなどで、「カンボジア 音楽」と検索すると色々な曲が出てきます。日本の伝統的な歌とは雰囲気の違いが曲ばかりです。ぜひ聞いてみてください。



♪カエルの歌♪～クメール語バージョンにチャレンジ！～

ルー ソー チョムリアン サツ コンカエブ ダエル ヨム トウ トブ タウ クニア ヴィア

ព្រូ ស្ទូ ចម្រៀង សត្វ កង្កែប ដៃល យំ ត តប ទៅ គ្នា វា

聞こえる 音 歌 動物 蛙 ～と 鳴く 返事する お互いに それが

カンボジアではカエルの鳴き声を何と言うのでしょうか？正解は一番下に！

អ្វី អ្វី អ្វី អ្វី អ្វី អ្វី អ្វី អ្វី អ្វី អ្វី អ្វី

グワッ グワッ グワッ グワッ ゲロ ゲロ ゲロ ゲロ グワッ グワッ グワッ



正解は…「オーブ」。国によって聞こえ方が違うのは面白いですね♪